



僕らはいしも繋がっている

## HYが贈る地域参加型のフェスティバル

心に響く歌と圧巻のステージパフォーマンスで、全国で活躍する与那城出身のバンド「HY SK Y Fes」が11月29日、与那城多種目競技場野外ステージで開催されました。開演前から集まっている来場者の笑顔からは、この日を楽しみに待ちわびていたことがうかがえ、友人同士や恋人、家族連れ等多くの方々が来場しました。

HYによるアコースティックセッションを皮切りに、地域の人々とHYのメンバーによる共演が数多く行われ、「天願獅子舞」では宮里悠平さん(ギター担当)が三線奏者として出演し、「栄野比区島民ダンス」では、名嘉俊さん(ドラム担当)が南洋の原住民風の装いで独特のダンスを披露して、会場を沸かせました。

フェスも終盤に差し掛かり、HYのライブが始まるころ、それまで雲に覆われていた空が明けて星が瞬きだし、会場にいた多くの来場者がステージ前に詰め寄って歌を口ずさみ、タオルを振る姿がみられるなど、会場の雰囲気は最高潮に達しました。

ラストの曲が終わると、会場からアンコールが鳴り響き、HYが選曲したのは「帰る場所」。家族の待つ家、大切な人が待つ街、生まれ育った故郷など、自分にとっての大切な場所が込められた歌を歌い終え、新里英之さん(ボーカル)は「今日、一生懸命輝いていた自分のことを忘れないでください。」と締めくくりました。